

■中国：電力貯蔵設備が、2019年末には累計240万kWに増加

現地メディアは2019年1月17日、電力貯蔵設備（ESS：Energy Storage System）について、2018年末時点で稼働中の設備が104万kWあり、そのうち2018年に建設されたものが65万kWと全体の62.5%を占めていると報じた。また、用途別内訳は、送配電系統用が76.3%、需要家用が12.5%、再エネ発電用が11.3%となっている。なお、2019年もESSの導入が進み、2019年末には稼働する設備の容量が合計240万kWになる見込みである。